

岐阜県 2011 6・7 中小企業情報

VOL.613

発行：2011年7月25日



中央会第56回通常総会

目次

特集 中央会第56回通常総会、講演会を開催…	2～4
中央会の動き	5
組合等の動き	5～6
中央会レディースクラブ通信	6
会員組合紹介	7
6月の景況レポート	8～9
専門家's EYE	10
事務局だより	11
暑中見舞広告	12～16

[発行所]

岐阜県中小企業団体中央会

岐阜市藪田南5丁目14番53号 ふれあい福寿会館(ふれあい会館)8階
TEL 058-277-1100(代) FAX 058-273-3930
URL <http://www.chuokai-gifu.or.jp>

中央会は、『第56回通常総会』を6月2日に岐阜グランドホテルで開催した。

総会には、中部経済産業局の瀬賀和也中小企業課長をはじめ多数の来賓並びに会員約200人が出席した。

開会にあたり、辻会長は「昨年、APEC中小企業大臣会合が岐阜市で開催され、各国の大臣と話す機会があった。その時、発展途上国の方が本当に日本に期待していることが伝わってきた。我々も何とか一步前に出て連携を図り、相互に良い取引をすればアジアが発展するのではないかと思う。また、懇親会の席で韓国の中小企業庁長官と話す機会があり、その縁で今年1月に古田知事のメッセージを持って韓国を訪問した。懇談の中で、日本では下請企業や協力会社と言われる“同伴企業”という言葉があり、中小企業も大企業と一緒に仕事をしている。今回の訪問で、韓国には活気があり日本の先を走っている感じを受けた。また、今年、中小企業団体全国大会が愛知県で開催される。先の大震災で先行き不透明な情勢ではあるが我々中小企業ががんばらないと日本は元気にならない。自分の会社を守り発展させ、アジアの方々と一緒に仕事をしながら世界の日本にしていけないといけないと痛感している」とあいさつした。

次いで、来賓を代表して中部経済産業局の瀬賀中小企業課長、県議会の藤墳議長、県の江崎商工労働部長から祝辞の後、議案審議を行った。

議案審議では、平成22年度事業報告書及び決算関係議案をはじめ、平成23年度事業計画案及び収支予算案など全5議案を上程し、いずれも原案どおり承認された。

続いて、株式会社商工組合中央金庫の杉山秀二副社長より「がんばろう！自立する中小企業を目指して」と題して講演を行った後、優良組合、組合功労者等の中央会会長表彰を行った。

～来賓あいさつ要旨～

【中部経済産業局 瀬賀和也 中小企業課長】

東日本大震災後の原発問題により、浜岡原発が停止したことに伴い、中部地域における電力安定供給の問題では、先日、エネルギー対策本部を設置した。今後、関係機関との間で時差のない情報共有を実施していく。また、緊急時における地域単位の地域連携事業継続計画が必要不可欠であり、加えてサプライチェーン強化のための企業立地補助制度の創設に係る新規提案もしている。

企業支援については、東日本大震災復興緊急保証が創設され、被災地はもとより被災地以外でも直接的、間接的に経営に影響を受けた中小企業の資金繰り支援策が大幅に拡充された。

岐阜県中央会では、本年度も、中部経済産業局が推進している中小企業支援ネットワーク強化事業を積極的に活用していただいている。引き続き、中小企業の更なる発展に尽力していただきたい。また、10月27日に岐阜県で一日中小企業庁が開催される。皆さまにご協力いただきながらぜひとも成功させたい。

【岐阜県議会 藤墳 守 議長】

先の東日本大震災の影響や浜岡原発の停止による電力の安定供給の不安などから、県内の中小企業の皆様のご苦勞は並々ならぬものがあると思う。

県としては、一昨年来、国の経済危機対策を最大限に活用し、雇用創出、きめ細かな生活支援、中小企業への金融支援等に取り組んでいる。さらに、昨年度のAPEC中小企業大臣会合の成果を生かし、海外で好まれる商品開発や海外マーケティングの拠点作りなど、積極的に海外展開にも取り組んでいる。

日本経済の基盤を支えている中小企業が一刻も早くこの状況から脱出していただくことが日本経済の回復につながると確信している。

【岐阜県 江崎禎英 商工労働部長】

県では、大震災の被災地支援として、当初第10班まで100名を派遣する予定をしていたが、延長して第20班

まで派遣することとした。また、各国から多くの支援をいただいているが、我々はそれをないがしろにしてはいけなし、その期待に応えることで日本の強さを示せると思う。

取引先との間で、相手のために考え、すぐ実行することが最も重要である。ビジネスの基本は、お客の満足のために手間をかけること。これを守れば日本は負けない。岐阜県から経済のあり方が発信され、苦しい時には原点に戻る。

今年のテーマは「変わる中小企業」。ぜひ変わってほしい。我々も精一杯応援させていただく。

～表彰受賞者のご紹介（敬称略・順不同）～

【優良組合（2組合）】

東白川製材協同組合（田口 勝理事長）

協同組合岐阜県鍼灸師マッサージ師会（藤井成幸理事長）

【組合功労者（21人）】

高木正規（岐阜県電気工事業（工組））

川瀬保雄（岐阜県プラスチック（工組））

清生勝文（岐阜県プラスチック（工組））

堀 廣（岐阜県西部撚糸（工組））

牛丸武一（美濃市上下水道（協））

西尾秀司（美濃市上下水道（協））

柴田和彦（岐阜県土木建築解体事業（協））

林 広道（岐阜県土木建築解体事業（協））

小川幸男（岐阜県製麺（協））

稲葉 弘（岐阜県製麺（協））

岩井 章（岐阜県金属工業団地（協））

堀 泰則（飛騨高山旅館ホテル（協））

加藤隆司（川崎岐阜（協））

水野堅二（岐阜県可児工業団地（協））

下村尚之（岐阜県可児工業団地（協））

遠松武雄（美濃織物工業（協））

川部三弘（美濃織物工業（協））

福田茂鑑（岐阜県自転車軽自動車商（協））

中村幸雄（岐阜県自転車軽自動車商（協））

堀部貞夫（岐阜県貨物運送（協連））

鹿野道郎（岐阜県柔道整復師（協））

【組合優良職員（3人）】

長谷川眞美（（協）土岐美濃焼卸センター）

佐古ひとみ（高山建設業（協））

熊崎浩則（岐阜県中濃生コンクリート（協））

【組合青年部役員功労者（2人）】

棚橋紀仁（岐阜県鐵構工業（協）青年部会）

牧野真澄（岐阜県米菓工業（協）青年部）

【青年中央会役員功労者（4人）】

林 久人（岐阜県青年中央会・副会長）

林 繁良（岐阜県青年中央会・副会長）

荻谷 伊（岐阜県青年中央会・副会長）

小島基弘（岐阜県青年中央会・理事）

【中央会レディースクラブ役員功労者（2人）】

山田祥永（岐阜県中央会レディースクラブ・理事）

久保田美郷（岐阜県中央会レディースクラブ・監事）

【中央会役員功労者（9人）】

安達康重（（協業）高登建設）

市原敬夫（川崎岐阜（協））

今井哲夫（岐阜県金属工業団地（協））

籠橋兵衛（（協）土岐美濃焼卸センター）

木方伸一郎（岐阜県眼鏡商業（協））

杉浦匡介（岐阜県電気工事業（工組））

松原一廣（岐阜婦人子供服（工組））

松原光好（岐阜県鋳物工業（協））

水口 齊（高山建設業（協））

【中央会優良職員（3人）】

大島達也（組織支援チームサブリーダー）

曾我圭次（東濃支所チーフリーダー）

神谷敦子（総務チームスタッフ）

【情報連絡員感謝状（3人）】

奥村公平（下呂温泉旅館（協））

渡邊信吾（東濃ひのき製品流通（協））

青木光弘（岐阜県石油商業（協））

○株式会社商工組合中央金庫 副社長 杉山秀二 氏

講演テーマ「がんばろう！自立する中小企業を目指して」



今回の大震災が今の日本の経済や景気にどのような影響を及ぼし、それが今後どうなるのかについてお話ししたい。

震災後の経済の状態を振り返ると、震災前の2月は、日本経済はそれほど悪くなかった。3月は震災の影響で史上空前の落ち込みで、経産省の生産の統計を取り始めて以来の最も急激な低下をした。4月はあまり良くなっていない。ただ、5月、6月は急カーブで回復する予測になっている。商工中金が行っている調査では、5月、6月の復活のカーブは、経産省の調査よりも弱いですが、それでも5月、6月は少しずつ上がっていくという数字が見えてくる。日本経済は、秋以降に回復するであろうというのが大方の見方。また、夏には回復するのではないかと見る人も結構いる。

東日本大震災の有無に関わらず、日本経済や企業が世界の大きな流れから置き去りにされないようにすることが大事である。

その中で強調したいことは、裾野産業と言われる中小企業が、一国の経済の中でいかに重要かということの世界のどの国も強く認識していることである。欧州もEC委員会の中に中小企業担当局を設けている。中国もそうである。

昨夏にベトナムを訪問した時、「ASEAN市場は2015年に自由になる。タイやインドネシアで作ったものも関税なしでベトナムに入ってきて完全に競争になる。その時にベトナムの裾野産業がタイやインドネシアの裾野産業に負けたらベトナムの産業は全部ダメになるので、2015年までに一生懸命育成しないとイケない。日本は中小企業の育成に成功した国として、どうしたら良いか教えてほしい」という話があった。ベトナムでも産業構造の一番の基礎である裾野産業を強くしないとイケないことをはっきりと自覚している。

では、強い中小企業を維持していくためにはどうしたらいいか。一つは、構造不況業種とか地域全体が不況になっているからだめだという議論があるが、そうではない。業種・地域の問題ではないと考えるべきだ。福井県鯖江市には眼鏡のフレームを作っている企業が多く集まっており、眼鏡のフレームは、構造不況業種の一つの例としてよくあげられる。実際に鯖江市に行って企業を訪ねると、不況に喘いでいる企業ばかりではない。ヨーロッパメーカーとマーケットで十分勝負している中小企業もいる。その違いは、プラスチックフレームはアジアの企業が強くて厳しいが、チタンは溶接が難しく、アジアでは作れないため、チタンフレームを作っている鯖江のメーカーは世界で勝負できている。これができない企業はアジアの企業に追いかけられている。先日、チタンフレームを作っている企業の方に聞くと「もうチタンは中国に追いかけられている。このままだと危ない。今はマグネシウムにシフトしないとイケない。だから、大学と共同でマグネシウム加工の研究に取り組んでおり、これが成功すれば中国には負けれないと言っている。

“失敗は成功のもと”とよく言われるが、“成功は失敗のもと”と思ったほうが良い。例えば、スイスの時計はゼンマイ巻き時計において世界で圧倒的なシェアがあった。しかし、クォーツ時計が発明されてもスイスの時計産業は取り組まなかった。逆に日本の時計企業はクォーツ時計の生産に懸命に取り組んだ。その結果、スイスの時計産業は一時的に壊滅的に弱くなった。ゼンマイ時計で世界を席卷したという成功体験がクォーツに乗り遅れる原因になり、成功が失敗の原因になった例である。

また、誰かと組むことも大事ではないか。誰かと組んでお互いに「良いとこ取り」をする。自分一人でも何かもやろうとしてもうまくいかない場合もある。誰かの力をうまく取り入れてお互いがプラスになることを考えてやっていくことも大事である。

特色をもった企業であってほしい。人がやらないことをやる。人より早くやる。自分の仕事のコンセプトを明確にしてやる。自分の頭で考える。成功体験を引きずって昔のままで、また同じことをやるのは、このめまぐるしい時代の中では適切なやり方ではない。

世界のどの国も中小企業の重要性に目覚めている。日本がそれを忘れたら大変なことになる。自分の頭で考え、成功体験に寄りかからず、物事は変わっていくことを念頭に置きながら取り組むことが重要である。



中央会の動き

県建設関連業団体部会が定会を開催

県内の建設関連業の組合で組織する県建設関連業団体部会（杉浦匡介部会長）は、6月23日に『第34回定会』をふれあい福寿会館で開催した。

定会には部会顧問の猫田孝県議会議員をはじめ、部会員約20名が出席。22年度事業報告書（案）及び収支予算（案）など全5議案を審議し、いずれも原案どおり承認された。なお、本年は役員改選を行い、杉浦部会長（岐阜県電気工事業工業組合 理事長）が再任された。

組合等の動き

岐阜県遊技業協同組合（大野春光理事長）

創立50周年記念式典を開催

岐阜県遊技業協同組合は、5月20日に創立50周年記念式典を岐阜グランドホテルで開催し、組合員や来賓など約190人が出席した。

式典の初めには、岐阜県における業界の歴史や組合の歩みとして社会貢献への取り組みなど、これまでの50年間を映像で振り返った。開会にあたり大野理事長は「日本は現在、かつてない国難に直面している。協力し合い、前進していくことが必要である。組合の歴史は、暴力団排除と社会福祉の2つを柱に、50年の先輩方の苦労の上に成り立っている。今後、さらなる50年を考えた時、我が業界が果たし得る役割は多々ある。原点に立ち返り、将来に向けて協力し合いたい」とあいさつし、次の50年に向けて決意を新たにした。

式典終了後には、記念講演として元力士の舞の海秀平氏の講演が行われた。



岐阜県電器商業組合（野原和義理事長）

創立50周年記念式典を開催

岐阜県電器商業組合は、5月26日に創立50周年記念式典をホテルグランヴェール岐山で開催した。組合員や来賓など約110人が出席した。

野原理事長は開会にあたり「設立以来、脈々と事業活動を展開してきたことは、先人たちのご尽力と関係者・事業者の支援の賜物である。本年もデジタル110番に組織を挙げて取り組み、また、地デジサポーターとしての個別訪問活動が、参加組合員と消費者との関係強化に結実し、地デジ化後の営業に寄与していくことが期待される。次の創立100周年に向けて新世代の組合員に継承していくことを切望する」とあいさつした。

式典では、組合功労者として岐阜県知事表彰や岐阜県中央会長表彰、全国電機商業組合連合会長表彰の表彰式も行われ、15人が表彰された。



岐阜県建具工業協同組合（三島誠一理事長）

全国建具展示会を開催

建具の新製品開発や伝統技術の保存、関連業界や一般消費者に建具をPRすることを目的とした「第45回全国建具展示会」（全国建具組合連合会主催、大会実行委員会は岐阜県建具工業協同組合）が、6月17日から19日まで、飛騨・世界生活文化センターで開催された。

展示会は、「第56回全国建具組合連合会 岐阜大会」の行事の一環として開催されたもので、昭和47年に岐阜で開催されて以来、38年ぶり2回目の開催となった。開会にあたり、大会実行委員長でもある岐阜県建具工業（協）の三島誠一理事長は、「建具の伝統工芸、職人の技、新しいデザインを、まずは岐阜県から全国に発信し、皆さんに知って頂きたい」とあいさつした。16日に行われた審査会では、本会からも審査員として審査に加わり、内閣総理大臣賞、中小企業庁長官賞、県知事賞、県中央会長賞などの入賞作品70点が選ばれた。

全国の建具事業者から障子やふすま、屏風など142点が出品され、一般公開された3日間、多くの来場者が訪れ、細部まで丁寧に作り込まれた匠の技に見入っていた。



中央会長賞受賞の二村建具店の作品

岐阜県飲食生活衛生同業組合（河本敏明理事長）

全国第49回全岐阜大会を開催

全国飲食業生活衛生同業組合連合会主催、岐阜県飲食生活衛生同業組合主管の『第49回全岐阜大会』が、6月8日に、飛騨・世界生活文化センターで開催された。

毎年、この全国大会は各県の持ち回りで開催されており、岐阜での開催は昭和59年以来2回目となった。全国から会員約1,600人が参加し、開会式典では、大会実行委員長でもある岐阜県飲食（生衛）の河本理事長が「お客様の笑顔を作るのが私たちの仕事である。この大会を機に日本を盛り上げていこう」とあいさつした。続いて表彰式、大会宣言の採択が行われた。

また、会場では、岐阜県のグルメや土産品等の販売・展示ブースが60店出店し、会員らが岐阜の味などを楽しんでいた。

中央会レディースクラブ通信

第12回通常総会を開催

レディースクラブ（会長 加藤智子）では、去る6月7日に岐阜都ホテル（岐阜市）において、第12回通常総会を開催し、平成22年度事業報告・収支決算、平成23年度事業計画・収支予算案等について審議し、原案どおり承認された。



第12回通常総会

○平成23年度の主な事業計画

- ①女性経営者等支援セミナー（2回程度）
- ②企業視察事業（近県の優良企業視察）
- ③交流促進事業 1) 県外女性部等との交流会の開催 2) 「レディース中央会全国フォーラムin 大阪」への参加 等

第1回女性経営者等支援セミナーを開催

レディースクラブでは、通常総会終了後に、元岐阜北消防署長の清水潔氏を講師に招いて、『巨大地震に備えて～企業経営者のための防災対策～』をテーマにセミナーを開催した。

セミナーでは、東海地震が危惧されている今日、企業経営者には災害に対する事前準備や発生時の対応等、危機管理の準備体制や心構えが必要なことと考え、長年岐阜市等の消防署に勤務し、平成7年の阪神・淡路大震災をはじめ数多くの災害時に出勤した経験やこの度の東日本大震災の被害状況等から、災害時に重要なノウハウをご講演いただいた。



第1回女性経営者等支援セミナー
講師：元岐阜北消防署長 清水 潔 氏

岐阜県中小企業団体中央会レディースクラブ 会員募集中！

当レディースクラブについての詳細や入会等についてのお問い合わせは、
中央会組織支援チーム（TEL 058-277-1101）までご連絡下さい。

頑張っている仲間達

中央会の会員組合を紹介します！



本会は、多種多様な業種・業態の組合等が会員となっており、これが本会の特徴でもあります。各組合がその特徴を活かし日々活動を続けていますので、皆様の仲間を紹介します。

岐阜県管設備工業協同組合

■理事長:渡邊松雄 ■組合員数:556人 ■設立年月日:昭和45年9月
■住所:岐阜市祈年町8丁目7番地 ■TEL:058-245-1562 ■URL:http://www.gifukankumi.or.jp/ken/

☆近藤事務局長に聞きました☆

当組合は、「協同組合岐阜県管設備会館」と県内各地に作られた任意の管工事組合の連合会組織「岐阜県管工事組合連合会」との合併により、県内全域にわたる管工事組合の中核組織として設立された組合で、今年、組合創立40周年を迎えました。

組合は、平成15年に、岐阜県と「災害時における応急復旧の応援に関する協定書」を締結し、災害応援に備えています。過去には、阪神・淡路大震災、新潟中越地震の際の応急復旧に、組合員を派遣し、今回の東日本大震災に対しても、要請があれば出動できる態勢を取るなど社会貢献活動にも積極的です。また、総会で来年開催のぎふ清流国体の費用の一部にと岐阜県に50万円の寄付を行いました。

さらに、広報活動にも力を入れています。毎月月初に、手作りの機関紙「組合情報」を発刊していますが、年々内容の充実にも努め、組合員に関係する資格試験・講習会等の情報、キャリア助成金の情報、IT関係の講習会の情報などのほか、組合の事業・活動の結果報告や、最近では「東日本大震災」に関連して、東海・東南海地震の新しい情報も掲載しています。組合員に、分かり易さに配慮しつつ、「情報」という“価値”を少しでも多く届けようと心掛けています。昨年7月からは、機関紙と並行して「組合情報」メール版のほか、機関紙発行の合間に、メールによるホットな情報も届けています。



寄付金目録の贈呈

美濃瓦協業組合

■理事長:西垣 修 ■組合員数:5人 ■設立年月日:昭和46年6月
■住所:岐阜市城田寺鎌磨2988番地1 ■TEL:058-232-5531 ■URL:http://www.minokawara.com/

☆西垣理事長に聞きました☆

当組合は、日本瓦(いぶし瓦)の製造から販売・施工(葺き替え)までを行う事業者により設立された協業組合で、これまで、北は北海道、南は九州熊本まで、全国各地の寺社仏閣等から工務店を通じて請け負っています。平成9年には岐阜城の屋根瓦の製造・施工を行い、昨年度は東本願寺(京都)、東大寺宝物館(奈良)の屋根瓦を製造したほか、県内では大垣城の屋根瓦の製造・施工を行いました。本年度は7月から約半年間かけて、長野県善光寺本坊大勧進の屋根瓦の製造・施工を手がけています。

当組合の瓦は、手造りによる受注生産で、1200℃で高温焼成するため耐久性が高く、-30℃の低温にも耐えられるほど耐寒性も高いのが特徴です。焼成後は1枚1枚を手作業で選別しており、品質と信頼性の高さが全国で評価されています。

組合には鬼(鬼瓦)造り50年の熟練職人が2人おり、この10年間には工芸大学を卒業した若者2人が入組し、熟練の技の修得に励んでいます。

西垣理事長は、「当組合では、一般瓦の製造だけでなく、寺社仏閣の屋根の四隅に乗せる龍、麒麟や獅子等の飾り物の留蓋(とめぶた)など、瓦産地の三州(愛知)、淡路(兵庫)、石州(島根)にも決して負けない複雑で細かい造形が必要な特殊な瓦が製造できるのが強み。今後もこの強みを活かして手造りによる質の良い瓦を造り続けたい。若い職人は細かい造形は非常に上手い。しかし、瓦は屋根に上がってからが勝負。彼らには下から見上げた時の見栄えの良さや迫力を出す作風や技も熟練職人から学んで欲しい。昨今の厳しい経営環境の中で若い職人も熟練職人と一緒に頑張っているが、地元岐阜県ではなかなか岐阜の瓦が活用されず、認知度も低いのは非常に残念。もっと地元の製造業に目を向けて欲しい」と話しています。



若手が麒麟の留蓋を製作

景況レポート

平成23年
6月末
調査
(前年同月比)

中小企業団体情報
連絡員70名（うち
69名分の集計）の
情報連絡票から

〔Ⅰ〕6月の特色

◆景況感DI値5ポイントの改善
～マイナス68～

〔Ⅱ〕6月の概況

当月の景気動向を前年同月比の景況感DI値で見ると、好転1、悪化69でDI値はマイナス68となり、前月のマイナス73に対し、5ポイントの改善となった。業種別に見ると製造業の景況感DI値はマイナス52で前月比12ポイントの大幅な改善となったが、非製造業の景況感DI値はマイナス84で前月比2ポイント悪化していることから、非製造業の業況に依然低調な様子が見える。

なお、景況感が好転した業種は輸送用機器のみで、景況感が悪化した業種は前月比で6業種減り、47業種となった。

主要な調査項目を見ていくと、売上高DI値はマイナス41で前月比14ポイントの大幅な改善、販売価格DI値はマイナス26で前月比3ポイント改善、収益状況DI値はマイナス65で前月比10ポイントの改善、資金繰りDI値はマイナス36で前月比4ポイントの改善となり、主要調査項目全て改善した結果となった。

コメントを見ると、製造業からは“供給体制の正常化”、“生産活動が回復”、“原材料価格が安定”、“親会社からの仕事量増加”など、震災以前の業況に戻りつつある旨の報告が寄せられた。しかし小売業、商店街、サービス業からは“海外からの観光客減少”、“風評被害などの影響による買い控え”といった報告が依然寄せられており、製造業と比して業況回復の遅れが見える。

その他、電力不足が懸念される中、7月から節電対策として大手自動車メーカー等がスタートする輪番休日によって、取引関係にある一部の業種から“自社の営業日や勤務シフトの対応が課題”との報告があった。

<主な調査項目での動向>

売上高の動向は、前年同月比で増加10、減少51でDI値はマイナス41となり、前月のマイナス55に対し、14ポイントの大幅な改善となった。

しかし、売上増加の回答の中には、「受注数量は増えているが、安値受注のため利益が出ていない」(タイل)、「昨年が悪すぎたため、現在も低水準の状態」(電気工事)など、売上増加を回答しているも厳しい状況にあることが伺える。

売上が増加した業種は7業種あり、タイル、生コンクリート、輸送用機器、機械・工具販売、自動車車体整備、理容・美容業、電気工事となっている。

売上が減少した業種は35業種あり、特に木材・木製品、卸売業、小売業、商店街、建設業に多い。

販売価格の動向は、前年同月比で上昇7、低下33でDI値はマイナス26となり、前月のマイナス29に対し、3ポイントの改善となった。業種別に見ると、製造業のDI値はマイナス12(前月比+13)、非製造業のDI値はマイナス42(前月比-9)となっており、非製造業の落ち込み幅が大きくなっている。

販売価格が上昇した業種は5業種あり、縫製(既製服)、プラスチック、水産物商業、中古自動車販売、石油製品販売となっている。

販売価格が低下した業種は23業種あり、特に卸売業、小売業、建設業に多い。

収益状況の動向は、前年同月比で好転5、悪化70でDI値はマイナス65となり、前月のマイナス75に対し、10ポイントの改善となった。

収益状況が好転した業種は4業種あり、縫製(既製服)、可児工業団地、輸送用機器、機械・工具販売である。

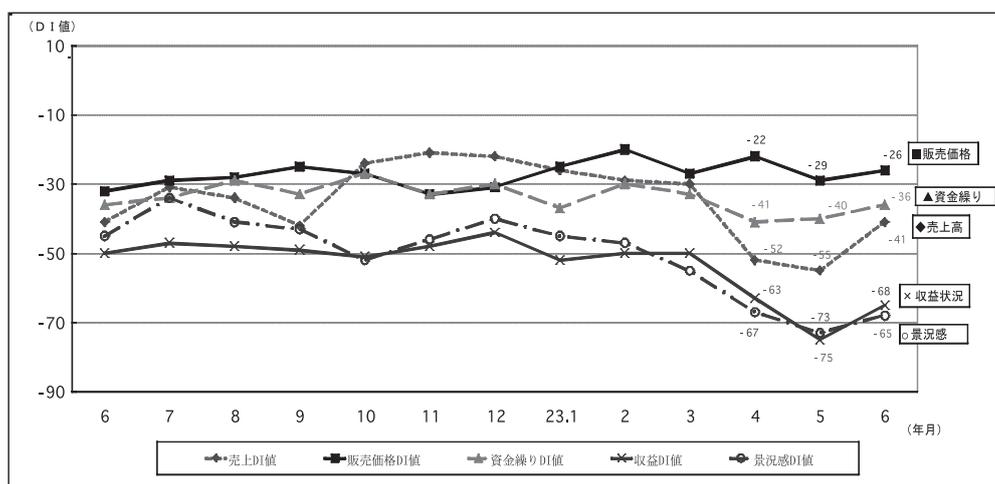
収益状況が悪化した業種は48業種あり、特に食料品、木材・木製品、窯業・土石、鉄鋼・金属、卸売業、小売業、商店街、建設業、運輸業に多い。

資金繰りの動向は、前年同月比で好転2、悪化38でDI値はマイナス36となり、前月のマイナス40に対し、4ポイントの改善となった。

資金繰りが好転した業種は2業種あり、プラスチック、輸送用機器である。

資金繰りが悪化した業種は26業種となり、特に小売業、建設業、運輸業に多い。

売上高、販売価格、収益動向、資金繰り、景況動向 DI 値の推移(前年同月比)



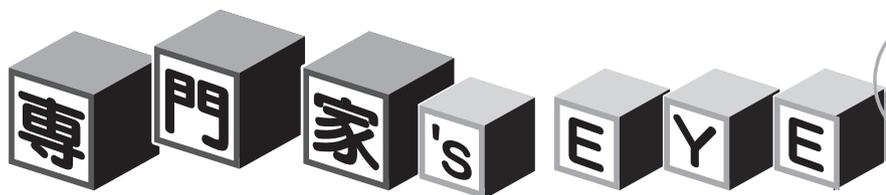
県内中小企業主要業種の景気動向

(6月末調査)

製造業		前年同月比					
区分	調査項目 業種	売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
食料品	牛乳・乳製品	△	▲	▲	△	△	▲
	食肉(国産)	▲	▲	▲	△	△	▲
	菓子	▲	△	▲	▲	△	▲
	米製麺	△	△	▲	△	▲	△
繊維・同製品	糸	△	△	△	△	△	△
	ニット工業物	△	△	▲	△	△	△
	毛織物	△	△	△	▲	▲	△
	合成繊維織物	△	△	△	△	△	△
	メンズアパレル	△	△	▲	△	△	▲
	婦人・子供服縫製(既製服)	△	○	○	△	△	△
木材・木製品	製材	▲	△	▲	△	△	△
	銘木	▲	▲	△	△	△	△
	製材・素材生産	▲	△	▲	△	△	△
紙紙加工品	濃ひのき	▲	△	▲	▲	▲	▲
	機械すき和紙	△	△	△	△	△	△
	特殊紙加工品	△	△	△	△	△	▲
印刷	印刷	▲	▲	▲	▲	△	▲
化学ゴム	プラスチック	△	○	△	○	△	△
窯業・土石	陶磁器(工業)	▲	△	▲	△	△	▲
	タイル	○	△	▲	△	△	▲
	窯業原料	△	△	▲	△	△	△
	石灰	▲	△	▲	△	△	▲
	生コンクリート	○	△	▲	▲	▲	▲
	砂利生産	△	△	▲	△	△	▲
鉄鋼・金属	砕石生産	▲	▲	▲	▲	▲	▲
	鋳物	▲	△	▲	▲	○	▲
	刃物等金属製品(輸出)	△	△	▲	△	△	▲
	刃物等金属製品(内需)	▲	△	▲	△	△	△
一般機械	メッキ	△	△	▲	△	△	▲
	県金属工業団地	△	△	△	△	△	△
	可児工業団地	△	△	○	△	▲	▲
輸送用機器	金型	△	△	△	△	△	△
	輸送用機器	○	△	○	○	○	○
非製造業		前年同月比					
区分	調査項目 業種	売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
卸売業	電設資材卸	▲	▲	▲	▲	△	▲
	陶磁器産地卸	▲	△	▲	△	△	▲
	機械・工具販売	○	▲	○	△	○	▲
小売業	青果販売	▲	▲	▲	△	△	▲
	水産物商業	▲	○	▲	▲	▲	▲
	家電機器販売	△	▲	▲	▲	△	▲
	メガネ販売	▲	▲	▲	▲	△	▲
	中古自動車販売	▲	○	▲	▲	▲	▲
	石油製品販売	△	○	▲	△	△	▲
	共同店舗(飛騨)	▲	▲	▲	▲	▲	▲
商店街	生花販売	▲	▲	▲	▲	△	▲
	岐阜市商店街	▲	△	▲	△	△	▲
	大垣市商店街	△	△	△	△	△	△
サービス業	高山市商店街	▲	△	▲	▲	△	▲
	自動車車体整備	○	△	△	△	△	▲
	長良川畔旅館	△	▲	△	△	△	△
	下呂温泉旅館	△	△	△	△	△	△
	高山旅館	▲	▲	▲	▲	▲	▲
	クリーニング	▲	△	▲	▲	△	▲
	広告美術	▲	▲	▲	△	△	▲
	飲食業	△	△	△	△	△	△
	ビルメンテナンス	▲	▲	▲	▲	▲	▲
	理容・美容業	○	△	△	△	△	△
建設業	土木(岐阜地区)	▲	△	▲	▲	△	▲
	土木(飛騨地区)	▲	▲	▲	▲	▲	▲
	建築設計	▲	▲	▲	▲	▲	▲
	鉄構造物	▲	▲	▲	▲	▲	▲
	電気工事	○	△	△	△	△	△
	管設備工事	▲	△	▲	△	△	▲
	建築板金	▲	▲	▲	△	▲	▲
	木製建具	▲	△	▲	△	△	▲
	産直住宅(東白川地区)	△	▲	▲	▲	△	▲
	運輸業	貨物運送(県域)	△	▲	▲	▲	△
軽運送		▲	△	▲	▲	▲	▲

凡例 ○: [増加]、[上昇]、[好転]
 △: [不変]
 ▲: [減少]、[下降]、[悪化]

※中小企業団体情報連絡員70名(うち69名分の集計)を対象にまとめたものです。



企業の発展に『経営革新』

中小企業診断士 清水 弘

I 経営革新の必要性

従来は、時代の流れもゆっくりであり、狭い地域の地方を商圈とする企業活動によっても中小企業の存続は可能でありました。最近ではIT活用により情報の流れが急激にスピード化し、さらにはグローバル化等により活動の場は広域化しています。従来型のスタイルの企業は「過去のしがらみ」に縛られることが多く、時代の流れに適応ができなくなりつつあります。このように中小企業の経営は厳しさが増加しています。

ネット販売等の新しいビジネススタイルが顕著となり、過去のしがらみより脱却しなくてはなりません。企業が継続するには、新しいスタイルの企業を創造するための経営革新が必要です。

II 経営革新の目的

中小企業新事業活動促進法では、「経営革新」を「事業者が新事業活動を行うことにより、その経営の相当程度の向上を図ること」と定義しています。

同法による「経営革新計画」の内容は、

- ①商品の開発又は生産 ②新役務の開発又は提供
- ③商品の新たな生産又は販売の方式の導入 ④役務の新たな提供の方式の導入その他の新たな事業活動等

の4項目です。新たな取組を行うことにより、企業の目標及びそのための活動内容を具体化した「経営計画」の実行に積極的に取組み、企業の活性化を行い、企業継続のための基礎強化を目的としています。

III こうすれば「経営革新」が達成可能

① 経営革新は毎日が挑戦

経営目標を達成するためには、現在「なされていない、できていない、できなかった・・・」ことを、可能とするための新しい手段や手法等の構築が必要です。それらの手段や手法を実現することが企業の付加価値を増加させます。現状の姿で停滞すれば、企業の成長はあり得ません。常時前進することが必要です。

「昨日よりも今日、今日よりも明日…」毎日挑戦することです。

② 経営革新の対象の具体化

目標とする経営革新の内容は、経営全般を範囲と

するので対象は広い。その企業の経営全般の内容は、企業経営者（一般的には社長さん）が一番詳しいものです。しかしながら経営者は多忙であり、「企業の不都合が発生しないように広い視野を常時働かすこと」が本業です。物事が順調に展開しているときは、底力は見えにくいのですが、不都合時に強力な企業力を発揮するために、広い視野をもって積極的に経営革新の対象を具体化することです。

③ 意識(こころ)の改革

意識改革のスタートは経営者が行います。その意識改革(目標)を受けて幹部社員が具体的な行動を起こして、全社員の意思が一致した組織体制の構築を行います。具体的に何を行うのかは「現場」を最も知っている社員の意識の改革が必要です。「多数の知識・知恵」を活用するために、全員の意識(こころ)の改革を行います。

④ 意識(心構え)の充実

積極的にやってみる、行うからには最後までやり遂げることです。その結果「やればできる」という自信が生じるものです。あきらめずに、何度も挑戦し続ける。

一人で悩まず、抱え込まず、他人を巻き込んで全員で行う。新しい事や難しい事に積極的に挑戦する意識(心構え)の充実が必要です。

IV 経営革新の成功の基本の確認

経営者の思いと社員の行動する実行力が「共感できる体制づくりの第一歩」を確立します。その結果が企業活性化の向上となり経営革新の成功につながります。

経営革新の成功の基本は、

- ・逆境がチャンスです。相手の話は十分聞いて、他人とは違う方法を発見しよう。
- ・元手がいない方法を見つけ、知識を十分に活用しよう。
- ・知恵を大切にし、物より時間を重視しよう。
- ・失敗は成功につながることを認識し、あきらめずに何度もトライしよう。
- ・やればできるの心構えで、必ず成功させるとの固い意志を継続しよう。

事務局だよ！

春の叙勲・褒章、県の各界功労者表彰

『春の叙勲・褒章』について、6月15日に褒章、18日に叙勲の受章者が発表されました。また、県の産業経済の発展等に功績のあった方に贈られる功労者表彰の受賞者に74人と4団体が選ばれ、5月16日に表彰式が行われました。なお、中央会関係者の方は以下のとおりです。

叙勲

【旭日小綬章】

小川二郎氏＝岐阜信用金庫・会長

【旭日双光章】

高橋 裕氏＝岐阜県飼料卸協同組合・前理事長

褒章

【黄綬褒章】

加藤孝義氏＝ファームネット岐阜協同組合・理事長

県功労者（県知事表彰）

【産業経済】

武藤雅紀氏＝岐阜繊維福祉協同組合・理事長

籠橋兵衛氏＝協同組合土岐美濃焼卸センター

・理事長（中央会 理事）

【県行政】

田島一男氏＝岐阜芯地紡織協同組合・理事長

【市町村行政】

高桑英一氏＝飛騨大野建設業協同組合・前理事長

【健康衛生】

山田敏雄氏＝協同組合岐阜県鍼灸師マッサージ師会
・副理事長

小林 博氏＝岐阜県医師会協同組合・理事長

【警察・安全】

岐阜県自転車軽自動車商協同組合 各務原支部

中央会日誌



<5月21日～31日>

- 23日 平成23年度第1回地域活性化ファンド審査委員会
(ふれあい福寿会館)
- 24日 岐阜地方最低賃金審議会(岐阜合同庁舎)
- 26日 県電器商業組合 創立50周年記念式典(グランヴェール岐山)
- 31日 中部経済産業局 平成23年度中小企業支援ネットワーク
強化事業 第1回運営会議(名古屋銀行協会)

<6月1日～30日>

- 1日 平成23年度若年者雇用問題検討会議及び
第4回岐阜新卒者就職応援本部会議(岐阜合同庁舎)
- 2日 中央会第56回通常総会(岐阜グランドホテル)
中央会正副会長会(ホテルパーク)
- 6日 古田知事レジオン・ドヌール勲章叙勲式(岐阜県美術館)
(社)県情報産業協会 第1回通常総会、研修会(グランヴェール岐山)
県食品産業協議会 第35回通常総会(グランヴェール岐山)
- 7日 中央会レディースクラブ 第12回通常総会(岐阜都ホテル)
- 10日 県中小企業組合士協会 第34回通常総会、研修会(ホテルパーク)
- 14日 都道府県中央会事務局代表者会議(全国中央会)
- 15日 全国中央会 評議員会、平成23年度通常総会
(ANAインターコンチネンタルホテル東京)
- 16.17日 第56回全国建具組合連合会岐阜県大会、第45回全国建具展示会
(飛騨・世界生活文化センター)
- 21日 最低賃金審議会委員意見交換会(全国中央会)
- 27日 平成23年度(財)県産業経済振興センター 通常総会
(ふれあい福寿会館)

<7月1日～20日>

- 8日 岐阜地方最低賃金審議会(岐阜合同庁舎)
- 11日 岐阜県地域活性化ファンド事業及び
岐阜県農商工連携ファンド事業審査委員会(ふれあい福寿会館)
- 13.14日 東海・北陸ブロック事務局代表者会議(大垣フォーラムホテル)

『ぎふ産品フェア』開催のご案内

中央会では、組合産品(農商工連携による製品、地域資源を活用した製品やサービス等)などのPRを行い、その認知度の向上、販路拡大等を目的に金山総合駅(名古屋市)及び恵那峡サービスエリア(恵那市)において「ぎふ産品フェア」を開催します。

出展料は無料です。ぜひご出展ください。なお、開催概要及び出展申込書は、本会ホームページ(<http://www.chuokai-gifu.or.jp>)からご覧いただけます。

問い合わせは、情報チーム058-277-1103まで。

■金山総合駅

【日 時】9月23日(祝金)・24日(土) 11:00～18:00
【場 所】「金山総合駅」連絡橋イベント広場
【申込締切】8月12日(金)

■恵那峡SA

【日 時】11月5日(土)・6日(日) 11:00～17:00
【場 所】中央自動車道「恵那峡SA」下り線(名古屋方面)
屋外イベントスペース
【申込締切】9月2日(金)

新規高卒者の就職に関する要望

岐阜県高等学校長協会より、新規高等学校卒業者の就職に関する要望がありました。要望内容は次のとおり。

「本県には、高等学校を卒業後ただちに就職を希望する生徒が例年4千人以上います。各学校の進路指導担当者が事務所を繰り返し訪問させていただき、採用のお願いを申し上げているところですが、将来の地域と産業を担う若者に希望や適性等を生かすことのできる職場を提供していただきますよう、特段のご理解とご配慮をお願い申し上げます。」

中小企業組合検定試験を受けて組合士になろう！

現在、全国で約3,300名の中小企業組合士が登録されており、組合、中小企業団体中央会や商工中金等それぞれの分野で活躍しています。

組合の業務を執行する役員、実務を担う職員の方々に、ぜひ挑戦していただきたい資格です。

【試験日】平成23年12月4日(日)

【試験科目】「組合会計」「組合制度」「組合運営」の3科目

【願書受付期間】9月1日(木)～10月14日(金)

※ 願書は、岐阜県中央会又は全国中央会において配布中です
(10月14日(金)まで)。

【受験料】5,000円(一部科目免除者は3,000円)

経済センサス 活動調査

●経済センサス-活動調査は、全国すべての事業所・企業を対象に実施します。

●この調査は、従業員数などのほか、売上高や費用などの経理項目を調査します。

総務省・経済産業省

暑中見舞い広告のお礼
このたび、本号における「暑中見舞い広告」に多数のご協賛・ご協力を賜り、誠にありがとうございました。

